

シラバス詳細

タイトル「2024年度シラバス」、カテゴリ「経済経営学類」

科目情報

< 2/2件 >

科目名

国際協働プロジェクト学習 I

講義名

国際協働プロジェクト学習 I

クラス

担当教員

クルト・ヨースト・ワウター(r449@ipc.fukushima-u.ac.jp)

実務経験のある教員による講義

学年

2年、3年、4年

キャンパス区分

金谷川キャンパス

開講学期

後期

開講時期

(後期)

曜日・時限

木 4

講義室

講義室未設定

科目種別

通常講義(学類)

ナンバリング

z0300230

科目区分

自由領域科目(学類)

単位区分

自由

単位数

2

準備事項

備考

特修プログラム

直接参照URL

https://livecampus.adb.fukushima-u.ac.jp/lcu-web/SC_06001B00_22/referenceDirect?subjectID=047340156489&formatCD=1

授業方法

講義、演習、実習、グループワーク、発表、ディスカッション、フィールドワーク、ICT機器の活用

講義情報

授業概要とねらい

この授業は英語で行われ、

この一週のテーマは「縁」です。生徒たちは、歴史的、経済的、対人関係など、それぞれの福島内外の様々な「縁」を掘り起こします。全員がそれぞれの「縁」を短い発表で紹介します。学生はこれらの「縁」の中からいくつかを選択し、グループに分かれて、プレゼンテーション・プロジェクトのテーマとして使います。このテーマに沿ったコンテンツを作成し、「Our Fukushima」という本学留学生運営のSNSで世界に発信します。

最終プレゼンテーションに向けた共同作業には、チームワーク、分業、異なる文化的背景間のコミュニケーションと相互理解が必要となります。自由な表現かつ注意深いリスニングを通じて、生徒は多文化・多言語のコミュニケーションにおける「Meaningful Interaction（意味ある交流）」を体感します。トピックとなる縁を見つけるには、福島の様々な側面についてリサーチする必要があり、仲間と共有することによって福島に対する包括的な理解を深めます。

単位認定基準

1. 多国籍、多文化のセッティングで積極的・調和的にグループワークができる。
2. 福島の内外の様々な「縁」そしてその概念をよく理解している。Shows a solid Understanding of the concept of 'en' and examples in and with Fukushima.
3. ICT手段で正確かつ分かりやすく発信できる。

授業計画

授業計画（週形式）

- 1) 自己紹介とアイスブレイクセッション
- 2) 異文化コミュニケーション
- 3) 「縁」と「私たちの福島」の概念
- 4) 福島の課題：風評とコミュニケーション
- 5) グループ編成とプロジェクト計画
- 6) プロジェクト計画週間
- 7) 中間発表
- 8) フィールドワーク
- 9) ゲスト講義
- 10) プロジェクト実行と進捗確認
- 11) プロジェクト実行と進捗確認
- 12) プロジェクト実行と進捗確認
- 13) プロジェクト実行と進捗確認

14) 最終発表

15) まとめと振り返り

教材・教科書

All necessary readings will be provided by the teacher.

参考図書

Ishii, Satoshi. "Developing a Buddhist En-Based Systems Paradigm for the Study of Japanese Human Relationships." Japan Review, No. 10 (1998): 109-122

参考URL

授業外の学修、及び必要な学修時間

This course will rely heavily on students meeting outside of class to conduct their research and study. Based on the credit system, a minimum of 30 hours of out-of-class study time is required.

成績評価の方法

グループワーク Group contribution 50%
中間レポート（プロジェクト提案） Mid-term (Project Proposal) 25%
グループ発表 Final Group project execution 25%

成績評価の基準

S: 単位認定基準を満たし、かつ全ての項目で優秀な学修成果をあげた（90～100点）
A: 単位認定基準を満たし、かつ多くの項目で優秀な学修成果をあげた（80～89点）
B: 単位認定基準を満たし、かついくつかの項目で優秀な学修成果をあげた（70～79点）
C: 単位認定基準を満たす最低限の学修成果をあげた（60～69点）
F: 単位認定基準の学修成果をあげられなかった（～59点）

オフィスアワー

金曜、3・4限目（事前予約は必須）

授業改善・工夫

この授業の自由度が高い反面、積極的な参加が必要となります。学生は円滑にコミュニケーションがとれるよう、定期的に異文化コミュニケーションに関する振り返りをし、改善に向けて考えます。授業は英語で行われるため、内容とペースは受講者の語学レベルに応じて順次調整されます。

留意点・注意事項

日本人学生の参加は大歓迎ですが、コースが英語で行われますのでご注意ください。

教員の実務経験の有無